

研究協力をお願い

CT データを用いた胸腔内3Dモデルデータ作成と教育への利用

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用した研究を実施しております。本研究への協力は、患者さんご本人の自由意思でご判断ください。ご協力いただけない場合も、今後の治療には影響はなく、患者さんに不利益が生じることはありません。説明中でわかりにくい部分がありましたら、お気軽にご質問ください。

研究の目的と方法

呼吸器外科の診療では、通常は胸腔（胸の中）の病変の評価や手術の術式の検討のために、患者の皆様のCT 検査を行います。撮影されたCT 検査のデータは画像データとして保存され、院内の端末で閲覧することが可能となります。

CT 画像は患者の皆様の断面写真であり、私たちは断面写真を見ながら皆様の胸腔を3次元的にイメージし、手術を行なっております。近年では、CT 画像データから3D モデルを作成することが可能となり、このデータが診療に非常に大きな役割を果たしております。

本研究は、皆様のCT データから3D モデルを作成し、そのデータを当院の医療関係者への教育目的に利用させていただくことが目的です。さらにこの3D モデルが医学教育にどの程度有用であるかを調べます。3D モデルデータを利用した教育が、医学的な理解を深めたり、学習意欲の向上につながると我々は期待しています。

診療を通じて得られた検体および診療情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究への協力をお願いする方

2025 年 9 月以前に当院呼吸器外科で手術を受けられた方

使用する試料・情報

CT 画像データ、胸部X 写真、年齢、性別、喫煙歴、手術術式、最終診断、ステージなど
使用開始予定日：2025 年 10 月 11 日

研究予定期間

2025 年 10 月 11 日～2028 年 12 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 呼吸器内科 大隅祥暢
〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究資料の将来的な利用の可能性について

本研究で使用した情報や成果を、将来的に別の研究でも使用する可能性があります。新たな研究では、大学で学生向けの教材とするなど、院外への提供を伴う場合も想定されます。

日本の倫理指針では、院外への情報提供に際し、個人情報の削除など厳格な安全対策が求められていますので、当院の研究者はそれを遵守すると共に、研究計画の倫理審査など必要な手続きを経て、研究を開始する予定です。

新たな研究を開始する場合は、あらかじめ済生会熊本病院臨床研究センターのホームページ（<https://sk-kumamoto.jp/crc/>）にてお知らせします。

同意の撤回など

研究への協力は、同意後であっても撤回することが可能です。同意撤回のご希望は、下記の『問い合わせ先』へご連絡ください。研究者は利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。

また、ご希望に応じて、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書などの関連資料を閲覧することが出来ます。

ご不明な点や、ご質問は下記へお気軽にお尋ねください

問い合わせ先	済生会熊本病院 呼吸器外科 大隅祥暢（おおすみひろのぶ） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	---